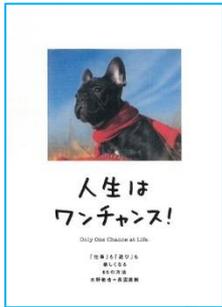


図書館通信 12月号 宇東図書委員

今年も残すところあとわずかとなり、寒さが身にしみる頃になりました。そんな季節に、心温まる動物たちからのメッセージに耳を傾けてみてはどうでしょうか。今回は『人生は〇〇』シリーズから3冊と、先月行われた読書会の感想(第2弾)を紹介します。



『人生はワンチャンス!』 水野 敬也・長沼 直樹 著

犬の一生は短い。欠点はそれだけである。

——アグネス・スライ・ターンボール

犬は私たち人間にとって、素晴らしいパートナーです。癒される犬の写真と、その写真にマッチした偉人の格言が載せられています。そして裏ページには、その格言がより深く理解できるよう、厳選された偉人のエピソードが書かれています。



『人生はニャンとかなる!』 水野 敬也・長沼 直樹 著

もし道に迷ったら、一番いいのは猫についていくことだ。猫は道に迷わない。

——チャールズ・モンロー・シュルツ

68枚のかわいくユーモラスな猫の写真と、普段忘れがちな「大切なこと」を教えてくれるフレーズが収録されています。人生の悩みを解決するためのヒントを与えてくれます。



『人生はZOOっと楽しい!』 水野 敬也・長沼 直樹 著

どんな動物も、あなたよりずっと多くを知っている。

——ネズパース族の言葉

私たちが地球に誕生する遙か昔から、動物たちは多様な進化を遂げ環境に適応してきました。そんな動物たちの特性や行動は、「生きる」ということについて深い知恵と大きな感動を与えてくれます。

読書会報告 第2弾

先月号に続いて、読書会の感想を紹介します。

それぞれが紹介する本にも個性があり、紹介の方法も違って楽しい時間を過ごせました。自分が紹介する本も、もう一度読んで新たな面白さを発見できてよかったです。また機会があればやってみたいです。やっぱり読書は楽しい、改めてそう思いました。

初めての読書会だったので、うまくできるか不安でしたが、チャンプ本に選ばれて、とても楽しく過ごすことができました。自分が読んだことのある本だけでなく、手を出しづらいジャンルの本も丁寧に紹介してもらったので、今度は紹介してもらった本を読みたいと思いました。

